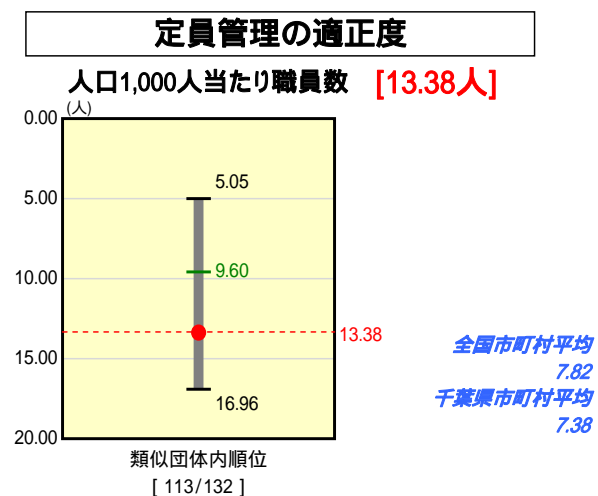
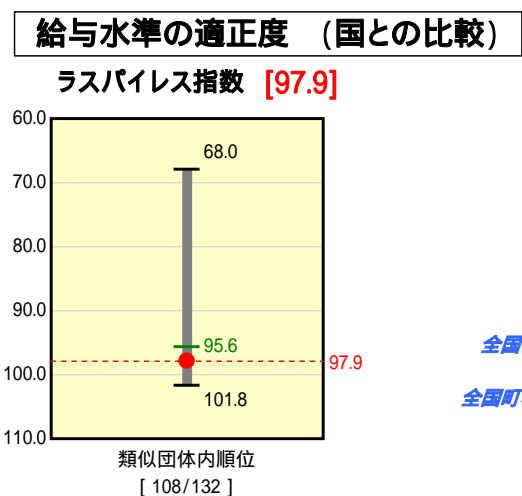
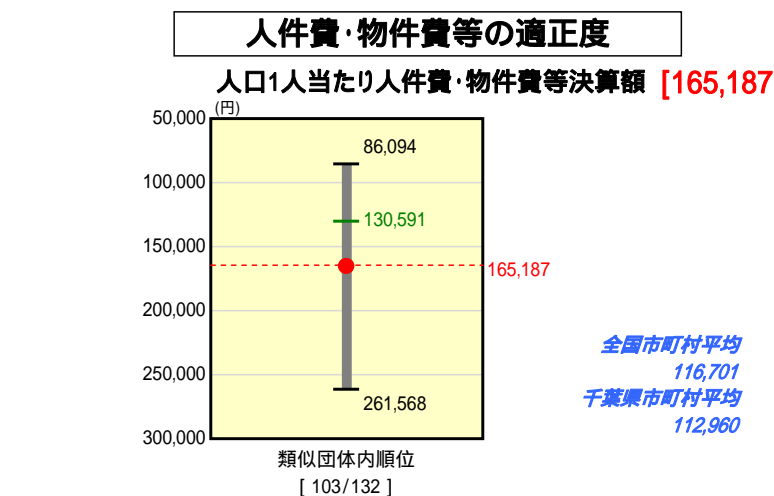
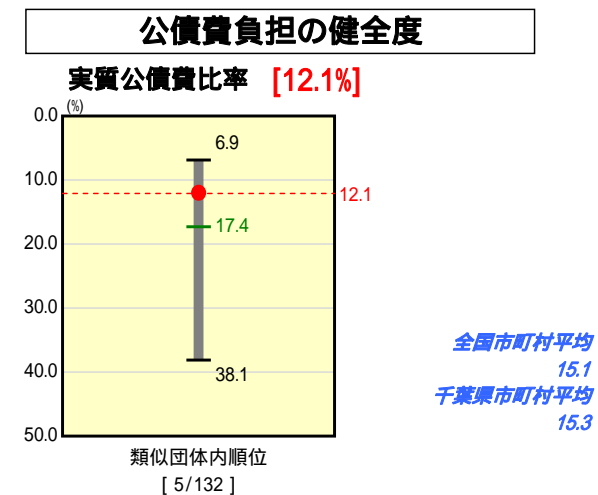
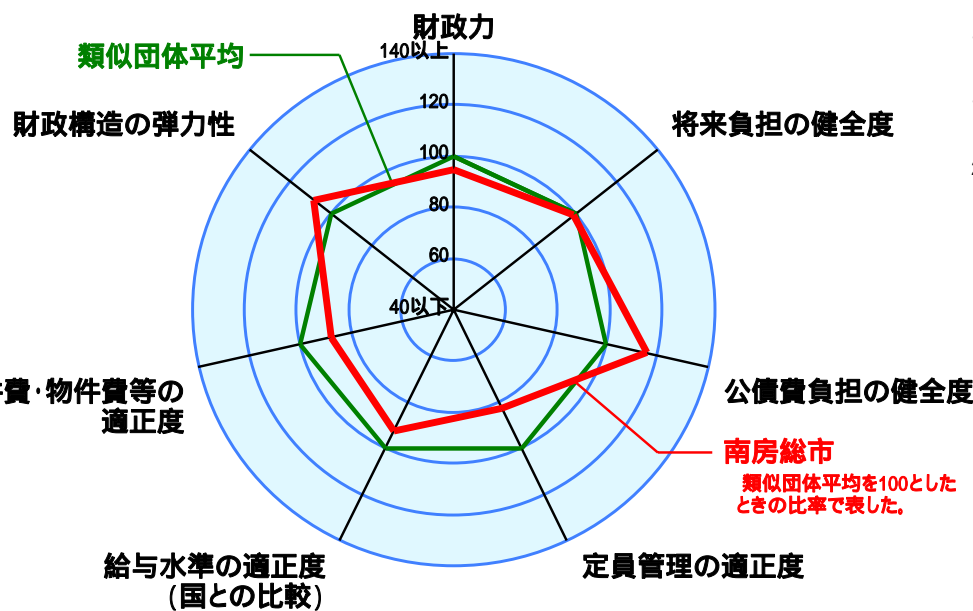
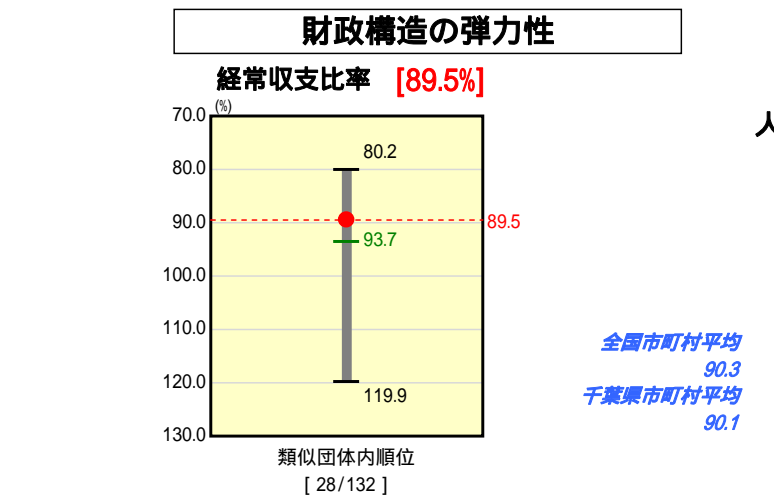
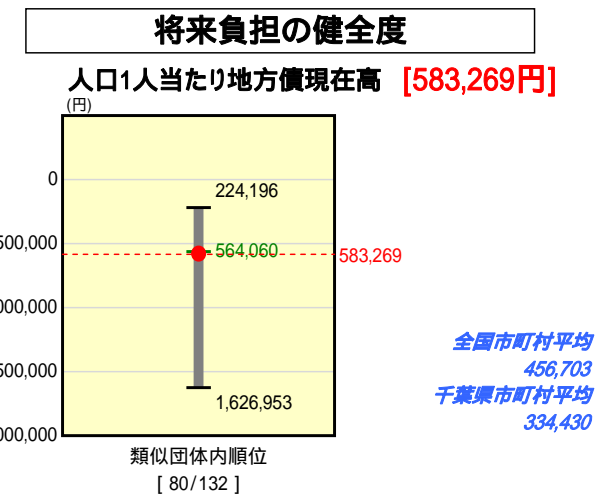
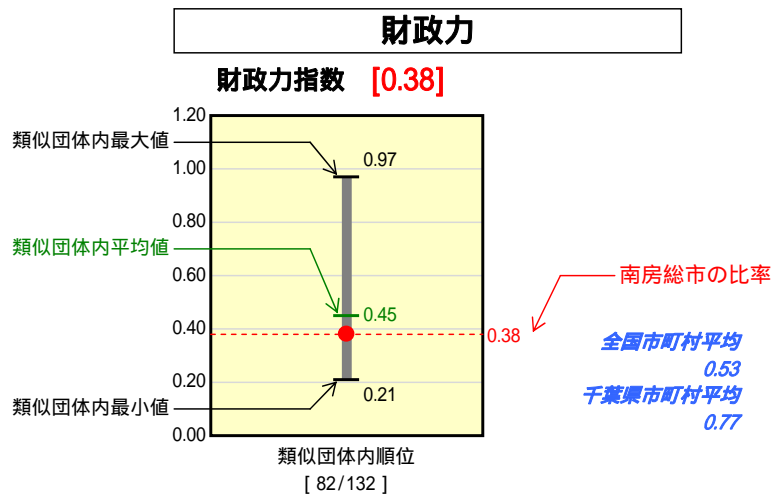


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 南房総市

人口	45,152人	(H19.3.31現在)
面積	230.22	km ²
歳入総額	20,031,452	千円
歳出総額	18,867,331	千円
実質収支	1,081,546	千円



分析欄

【財政力指数】
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成18年度末33.6%)に加え、市内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。退職者補充の抑制等職員数の削減による人件費の削減、組織の合理化、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制するなど、歳出の見直しを継続するとともに、収収の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

【経常収支比率】
市町村合併による常勤特別職員、議会議員数の減少による人件費の減、事務事業の統合・廃止による経常経費の減、また、地方交付税による合併支援措置により89.5%と改善し、類似団体平均を大きく下回っているが、これは、市町村合併による一時的な改善であり、引き続き新規採用の抑制による職員数の削減、事務事業の抜本的な見直し、組織の合理化、民間委託の活用、補助交付金の見直しなど行財政改革を推進し、経常経費の削減を図る。

【実質公債費比率】
緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択と、辺地及び過疎対策事業のように地方財政措置のある有利な起債を利用することにより、類似団体平均を大きく下回っている。今後も投資事業を厳選し、元金償還額以上の新規発行は行わないなど抑制に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
近年実施した教育施設建設事業や保健福祉交流施設建設事業、また、市町村合併による電算統合システム整備事業等を主要因として、類似団体平均を上回っている。後世への負担の軽減と財政構造の弾力性の確保のため、元金償還額以上の新規発行は控えるなど、財政の健全化に努める。

【ラスパイレス指数】
行政改革推進計画に基づく職員の給与カット(常勤特別職員2%、一般職員1%)を実施し、全国平均と同水準となったが、類似団体平均と比較すると2.3ポイント上回っているため、今後も引き続き給与体系の見直しを図り給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体の平均を大きく上回っているが、平成19年3月策定の定員適正化計画に基づき適切な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費、物件費を主要因として類似団体平均を上回っている。これは、7団体の市町村合併により、職員数が類似団体と比べ多いために、人件費が高くなっていることや、総合計画はじめ各種基本計画の策定など合併による臨時的経費が大きくなっているためである。今後は、行財政改革の推進により削減を図る。